

環境問題とUNEPについて考える (1)「環境問題」とは

2017年3月

平石 尹彦(ひらいし たかひこ)
(一般社団法人)日本UNEP協会

taka.hiraishi@gmail.com

<http://www.j-unep.jp/>



勉強会の予定

(毎月開催を予定)

1. 「環境問題」とは
2. 国際的な環境問題、UNEPの設置、及びその後の展開。
3. 主要な多国間環境条約(温暖化を除く)
4. 気候変動に関する科学と、気候変動に関する国連枠組み条約(UNFCCC)
5. 持続可能開発への挑戦

平石 尹彦（ひらいしたかひこ）

1944年12月3日生まれ。1966年3月東京大学工学部合成化学工学士、1968年3月東京大学工業化学修士、労働省入省。1970年内閣に設置された公害対策本部を経て、1971年に設置された環境庁へ。悪臭公害、酸性雨対策、オゾン層対策、有害廃棄物対策、有害化学物質対策、水質汚濁対策など公害対策の諸分野で勤務。1975－78年にケニア大使館（環境・技術協力）、1980-82年にOECD環境局化学品課（パリ）勤務。環境庁水質保全局水質規制課長を経て、1989年から国連環境計画（UNEP）事務局へ（ケニア国ナイロビ市）。1996年6月から98年7月まで同環境アセスメント・情報局長。1998年8月から、同上級顧問（大阪勤務）。1998年末、UNEP退職。2002年から、2008年まで、環境省参与（OECD持続可能開発プロジェクト及び政策レビュー関係）。2015年10月まで気候変動に関する政府間パネル（IPCC）ビューローメンバー。

現在：基本的には年金生活者。地球環境戦略研究機関（IGES）参事（ボランティア）、（一般社団法人）日本UNEP協会理事（ボランティア）。